

带状疱疹ワクチン接種のご案内

【带状疱疹とは？】

带状疱疹は、皮膚に赤い斑点と小さな水ぶくれがまとまって帯状に現れます。発疹は痛みを伴い、発疹が治まった後も神経痛が残ることがあります。

日本人成人の90%以上は、带状疱疹の原因となるウイルスが体内に潜んでいて、50歳を超えると発症率が高くなり、80歳までに約3人に一人が带状疱疹になるといわれています。

带状疱疹は、ワクチンを接種することで予防することができます。

当院では、2種類のワクチンを接種することができます。(接種対象者、接種費用、回数、効果の持続期間等に違いがあります)

◆杉並区では、带状疱疹ワクチンに対する公費助成制度があります。

(当院は、杉並区の公費助成契約医療機関となっております)

杉並区のホームページはこちら

⇒<https://www.city.suginami.tokyo.jp/guide/kenko/yobouseshu/1086116.html>

◆杉並区の公費助成について

公費助成の対象は、接種日当日杉並区に住民登録があり、かつ、50歳以上で、杉並区契約医療機関で令和5年4月1日以降に接種したものに限りです。

【接種までの流れ】

接種を希望される方は、事前に杉並リハビリテーション病院(03-3396-3181)へ電話の上、接種日の予約をしていただきます。接種当日は、年齢と杉並区民であることを確認しますので、公的な書類(運転免許証、マイナンバーカード、健康保険証等)を必ず受付にご提示をお願い致します。

なお、お電話の際には以下の表にある2種類のワクチンの特徴や接種条件、副作用等をよくご参照いただき、接種を希望するワクチン名をお伝えください。

★当院で接種できる带状疱疹ワクチンについて（接種対象者は、50歳以上です）

ワクチン名	ビケン (弱毒性水痘ワクチン)	シングリックス (乾燥組換え带状疱疹ワクチン)
ワクチンの種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種回数	1回（皮下注射）	2回（筋肉注射） (1回目接種の2か月後から6か月以内に2回目接種)
発症予防効果	50～59歳で69.8% 60歳以上で51.3%	50歳以上で97.2% 70歳以上で89.8%
神経痛予防効果	65%程度	90%程度
効果の持続時間	5年程度	9年以上
副反応	接種部の紅斑、痛み、かゆみ、 腫れ、発熱、倦怠感 水痘用発疹（1～3%）など	接種部の痛み、腫れ 筋肉痛、疲労、頭痛など
打ってはいけない方	<ul style="list-style-type: none"> ・明らかな発熱や急性疾患の方 ・水痘ワクチンによる強いアレルギー反応（アナフィラキシーなど）起こしたことがある方 ・妊娠している方 ・先天性及び後天性免疫抑制状態にある方 ・副腎皮質ステロイド剤や免疫抑制剤などの治療を受けており、明らかに免疫抑制状態の方 ・その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した方 	<ul style="list-style-type: none"> ・明らかな発熱や急性疾患の方 ・带状疱疹ワクチンによる強いアレルギー反応（アナフィラキシーなど）起こしたことがある方 ・その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した方
接種費用	<p>¥8,000円（税込）</p> <p>※杉並区助成金対象の方は、 自己負担¥3,000円</p>	<p>1回あたり¥22,000円 × 2回 (合計¥44,000円)</p> <p>※杉並区助成金対象の方は、 自己負担1回あたり¥12,000円×2回 (合計24,000円)</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・免疫が低い方は、接種不可 ・1回接種で済む ・費用が安い 	<ul style="list-style-type: none"> ・免疫が低下している人でも接種可能 ・予防効果が高い ・効果の持続期間が長い